

令和元年度 北九州港（新門司地区）航路（-10m）浚渫〔暫定-8m〕工事のお知らせ

次のとおり、北九州港（新門司地区）航路（-10m）の潜水探査及び浚渫工事を実施しますので、付近を航行する船舶は十分な注意と工事へのご協力をお願い致します。

1. 工事期間及び工事時間

地区名	種別	最大隻数	予定期間	作業時間	警戒船
新門司地区	潜水探査	16隻	令和2年1月中旬～令和2年1月下旬	日の出～ 日没	2隻
	サンドポンプ	1隻	令和2年2月上旬～令和2年3月上旬		
	グラブ浚渫	2隻			

※ 潜水探査は、浚渫工事が行われていない日に実施します。

※ 平日の作業を原則としておりますが、作業の進捗状況により休日の作業が発生する場合があります。

2. 工事場所

北九州市門司区新門司二丁目地先（図-1参照）

3. 工事概要

3-1 潜水探査

- 各潜水士船から潜水士1名が潜り、磁気探査機又は簡易探査機を使用し探査区域内を移動しながら作業します。
- 潜水作業の投入隻数は、1船団(4隻)を基本とし、最大4船団(16隻)までとします。

3-2 浚渫工事

- スパット式グラブ浚渫船（最大2隻）、サンドポンプ（クレーン付台船 最大1隻）にて浚渫を行います。

4. 工事の安全対策等

4-1 共通事項

- 作業船には、海上衝突予防法に定められた形象物を掲げます。
- 作業時はできる限り可航幅が広がるように確保し、作業船は通航船舶の流れに並行に配置します。

4-2 潜水探査

- 作業中は、探査区域の四隅に俵ブイを設置します。
- 潜水作業中は、警戒の標識（緑、黄、緑の吹き流し）を掲げた警戒船を潜水士船団の周辺に配備します。
- 警戒船は、2隻配備するものとし、うち一隻は国際VHF無線を装備した指揮船を配備します。但し、2船団を超える場合は、警戒船を1隻追加し3隻配備するものとし、うち一隻は国際VHF無線を装備した指揮船を配備します。

4-3 浚渫工事

- 浚渫工事を行わない時、浚渫船は、停泊場所に停泊します。
- 浚渫工事中は、警戒の標識（緑、黄、緑の吹き流し）を掲げた警戒船を浚渫船団の周辺に配備します。
- 警戒船は、2隻配備するものとし、うち一隻は国際VHF無線を装備した指揮船を配備します。

4-4 工事作業船の退避基準

- 作業を行う場合の作業船の退避、行き会い調整は以下の表のとおりとします。

作業船の退避・行き会い調整	
【工事作業船の退避：航路(-10m)利用船舶が対象】	
■航路(-10m)潜水探査作業時	・全長160mを超える船舶が入出港する場合は、(A)線の南側退避区域へ退避する。
■航路(-10m)浚渫工事時	・全長180mを超える船舶が入出港する場合は、(B)線の南側退避区域へ退避する。
【行き会い調整：航路(-10m)利用船舶が対象】	
■全長80mを超える船舶は、行き会い調整を実施する。	

■ 航行船舶へのお願い

① 情報提供のご依頼について

【対象船舶】航路(-10m)利用船舶

- 全長80mを超える船舶におかれましては、行き会い調整を行う場合がありますので、事前に以下の情報を「新門司沖支援業務室」までご連絡願います。また、全長160mを超える船舶で、作業船の退避が必要な場合は、併せてその旨ご連絡をお願い致します。

<提供内容>

◆ 入出港船舶の船名及び全長 ◆ 入出港予定日時 ◆ 連絡先 ◆ その他必要事項

- ② 付近を航行するVHF装備船舶は、常時VHF16chを聴取して下さい。

- ③ 付近を航行する船舶は、十分注意するとともに減速等のご協力をお願い致します。

問い合わせ先：新門司沖支援業務室 ((公社)西部海難防止協会)

TEL: 093-383-7908 FAX: 093-383-7918

HP: <http://www.seikaibo.ecweb.jp/shinmoujoki/>

◇ 工事施工における問い合わせ先 ◇

国土交通省 九州地方整備局 北九州港湾・空港整備事務所 空港北町出張所

保全課

TEL: 093-474-5203

HP: <http://www.pa.gsr.mlit.go.jp/kitakyusyu/>

図-1. 工事区域

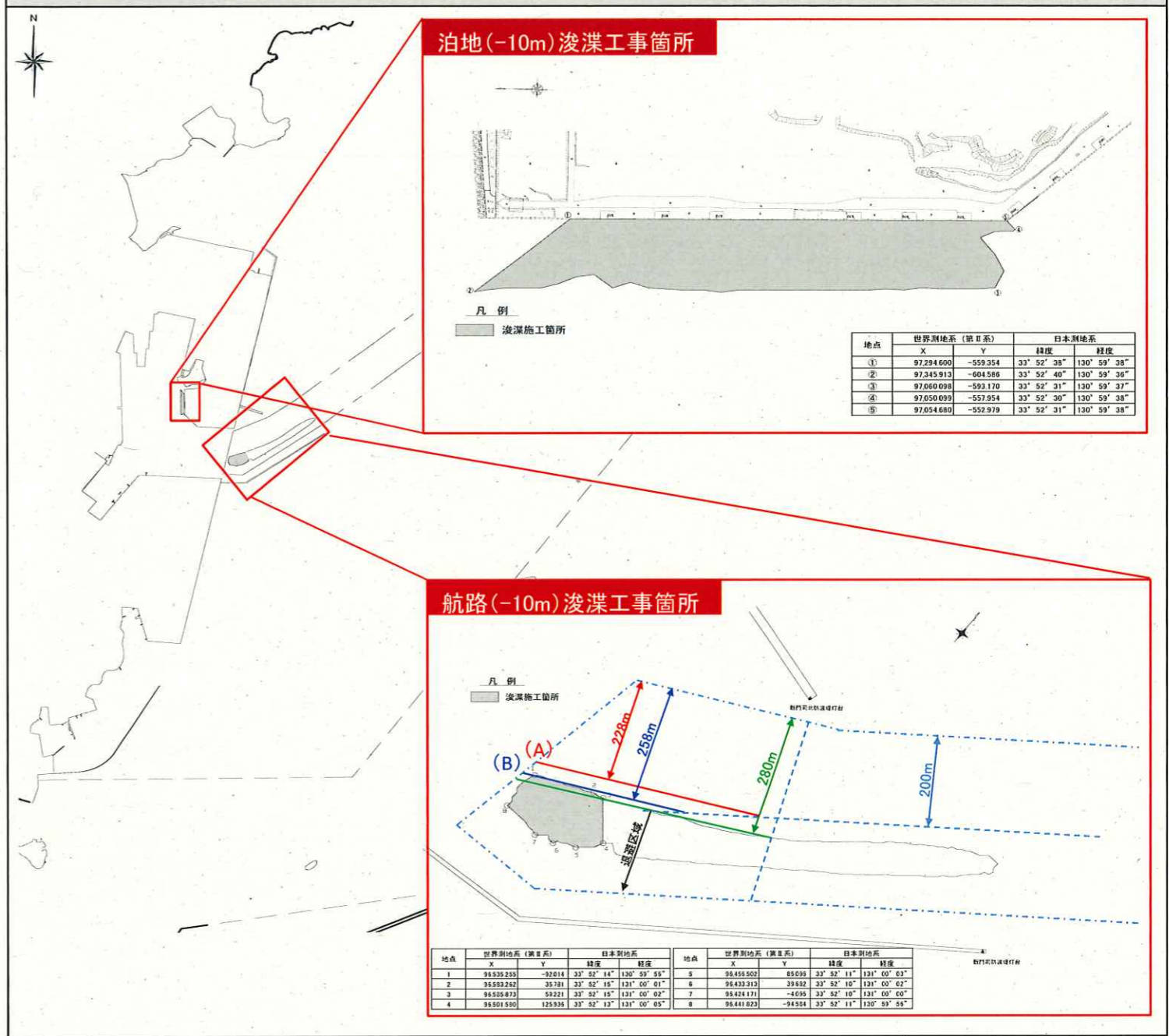


図-2. 潜水探査時の潜水士配置例図

※ 4船団(16隻)の場合の配置例図

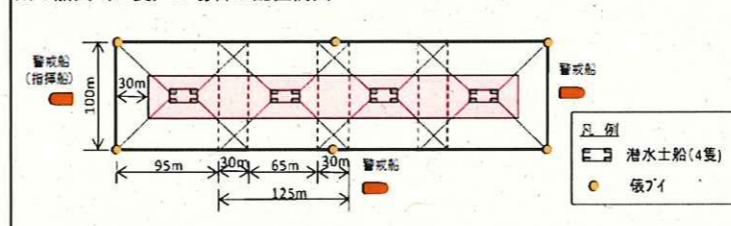


図-4. 俵ブイ詳細

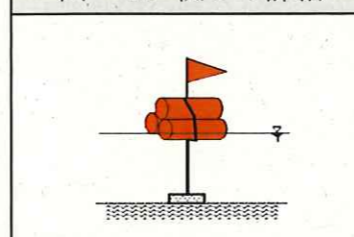


図-5. 潜水士船の標識

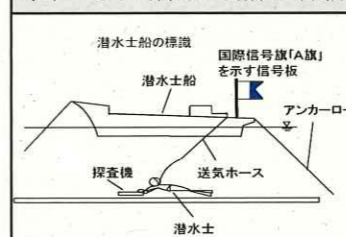


図-3. スパット式グラブ浚渫船の灯火及び形象物

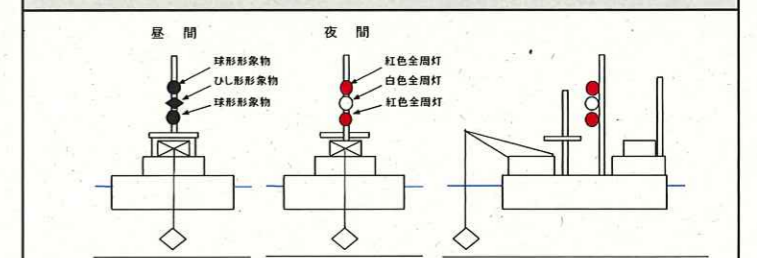


図-5. 警戒船の標識

